



日本百貨店

PRESS RELEASE

Date: 2013.04.27.

日本百貨店 しょくひんかん オープン

株式会社コンタン(本社：東京都渋谷区)は、6月末、東京都千代田区神田練堀町
(JR 秋葉原駅電気街口徒歩1分)に、日本の食のテーマパーク、
“日本百貨店 しょくひんかん”をオープンします。

テーマは体験・体感、そして“食を楽しむ”。

老若男女、世界中の人たちが集まる秋葉原の駅前という立地で、
食の生産者と消費者の直接の出会いの場を提供します。



しょくひんかん

日本百貨店

■ 日本百貨店(にっぽんひゃっかてん)とは?

2010年12月10日、東京・JR東日本の山手線御徒町駅・秋葉原駅のちょうど中間地点。
線路の高架下に生まれた商業施設、“職人の街”2k540 にオープンいたしました。
テーマは“モノづくり”と“日本の優れたもの”。

ニッポンヒヤッカテン、その名の通り日本全国津々浦々から、モノづくりにこだわった職人の
手による工芸品や、地域ごとの風土の中で生まれた食品など、“スグレモノ”を集め、東京の
マーケットに紹介してまいりました。

ただ単なる“売り場”=売る場所、ではなく、作り手と使い手の出会いの場を提供することを
コンセプトに、作り手にもお店づくりに参加してもらい、店舗内での実演販売、体験、ワーク
ショップなども随時実施しております。

〒110-0005

東京都台東区上野 5-9-3 2k540 内 日本百貨店 ☎03-6803-0373



■ 日本百貨店 しょくひんかん

神田練堀町。かつて青果市場=やっちゃばがあった場所にオープンする商業施設、「CHABARA」。

その場所の歴史背景から「食」をテーマにした施設となります。日本百貨店しょくひんかんは、この CHABARA の中核テナ
ントとして、全敷地の90%を占める食のテーマパークとして誕生します。

日本百貨店以外の出店店舗は、鎌倉の精進料理「鎌倉不識庵」・何十種類のコーヒーを豆から焙煎する「やなか珈琲」
の飲食店2店舗。

日本百貨店しょくひんかんでは、作り手と使い手の出会いの場を標榜し、消費者が日本のおいしいもの、そしてそのモノづくり
の背景に出会い、歴史を、風土を学ぶ。日本を愛する。そんな出会いのきっかけになる場所づくりを目指します。

見て楽しむ→参加して学ぶ→そして現地を訪れる

■ ニッポンのすぐれもの。

日本百貨店しょくひんかんでは全国の作り手や産地とコラボ、商品展開します。作り手のラインナップの一例を記します。

1. ニッポンのすぐれものたち。(全国の作り手たち)

| | |
|-----------|----------|
| 静岡・塩辛 | 駿河屋賀兵 |
| 山形・乾燥野菜 | 黒田商店 |
| 徳島・柚子 | 袖冬庵 |
| 長崎・だし | 海産物のわたなべ |
| 熊本・醤油 | 緑屋本店 |
| 沖縄石垣島・ぼん酢 | ふたばや本舗 |
| 京都・佃煮 | たけのうち |
| 栃木・大豆 | こいし屋食品 |
| 群馬・醤油 | 岡直三郎商店 |
| 東京飯田橋・和菓子 | 瑞月院 |
| 等々 | |



2. ニッポンのいいところ。(全国の自治体等)

長野県小布施町、佐賀県太良町、静岡県、大分県等

3. ニッポンのほっと一息。(飲食店舗)

新潟県・菊水酒造—KURAMOTO STAND(日本酒蔵元が考える新しいフードスタイル)

長野県・黒姫和漢薬研究所—CAFÉ DE KAMPOH(自然で健やかな感動と喜び)

4. 特設コーナー

缶詰博士・黒川勇人の“ほんとはおいしいニッポンの缶詰”

ギフトコーナー “全国オミヤゲよりどりみどり”

■ ショップデータ

名称 / 日本百貨店 しょくひんかん

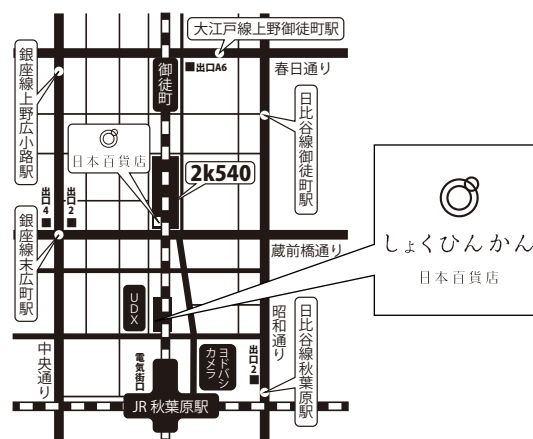
住所 / 東京都千代田区神田練堀町(住所表記未定)

☎ 03-6803-0373 (日本百貨店 御徒町本店)

店舗面積(通路部分など除く売り場面積) / 約 180 坪

営業時間 / 11:00-20:00 予定 定休日なし

休館日 元旦および年二回メンテナンス日



■ 問い合わせ先

株式会社コンタン 鈴木

080-3085-6806 / masa@contan.co.jp